

# 還元主義哲学者による心の別の漫画の肖像-心の不透明度のレビュー (The Opacity of Mind) by

Peter Carruthers (2011)

(2019年のレビュー改訂)

Michael Starks

## 抽象

唯物論、還元主義、行動論、機能主義、動的システム理論、計算論は一般的な見解であるが、ヴィトゲンシュタインは支離滅裂であると示した。行動の研究は人間の生活のすべてを包含するが、行動は主に自動で無意識であり、主に言語で表現される意識的な部分(ヴィトゲンシュタインは心と同一視する)でさえも、知覚的ではないので、サールが合理性の論理構造(LSR)と呼ぶ枠組みを持つことは重要であり、私は高次思考の記述心理学(DPHOT)と呼ぶ。ヴィトゲンシュタインとサールが働いた枠組みを要約した後、現代の推論研究によって拡張されたように、私は現代の行動科学を含む行動のほとんどの議論に浸透するカーサーの見解の不十分さを示します。私は、彼の本は2冊の本のアマルガムであり、1つは認知心理学の要約であり、もう1つは新しい専門用語を追加して心の標準的な哲学的混乱の要約であることを維持しています。私は、後者は支離滅裂または人生の漫画の見解とみなされるべきであり、彼の言葉でヴィトゲンシュタインを取ることは、私たちは言語/身体の問題として心/体の問題を考慮することによって成功した自己療法を実践できることを示唆しています。

現代の2つのシス・エムスの見解から人間の行動のための包括的な最新の枠組みを望む人は、私の著書「ルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタインとジョン・サールの第2回(2019)における哲学、心理学、ミンと言語の論理的構造」を参照することができます。私の著作の多くにご興味がある人は、運命の惑星における「話す猿-哲学、心理学、科学、宗教、政治-記事とレビュー2006-2019 第3回(2019)」と21世紀4日(2019年)の自殺ユートピア妄想<sup>st</sup> Century 4<sup>th</sup> ed (2019)などを見ることができます。

まず、ジョン・サール(S)とルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタイン(W)(共同WS)の作品に例示されているように、哲学と現代心理学研究との関係について、SをWの後継者と考え、一緒に仕事を研究しなければならないというコメントを述べます。それは、私がWSフレームワークと呼ぶ行動の明確な説明を提供するこれら2人の天才によって、PNC(新世紀の哲学)、TLP、PI、OC、社会世界(MSW)および他の本を作る私のレビューを見るのに役立ちます。Searleが合理性の論理的構造(LSR)と呼ぶこの枠組みは、私が高次思考の記述心理学(DPHOT)と呼んでいます。行動t isの明確な記述を持つことは可能ですが、それはほとんどすべての議論から完全に欠落しています such。

WSの作品でさえ、それは明確にレイアウトされておらず、事実上すべての他の作品では、通常の悲惨な結果を伴って、ほのめかされているだけです。私はWとSからのいくつかの引用から始めます。これらの引用はランダムに選択されるのではなく、10年間の研究の結果であり、一緒に私たちの2つの最大の記述心理学者からの行動(人間性)の概要です。彼らを理解すれば、彼らは心の中に入る(主にWが明らかにした言語と共に)、必要な限り多くのガイダンスを提供することが可能な限り深く浸透します。

心理学の混乱と不毛さは、それを「若い科学」と呼ぶことによって説明されるべきではありません。その状態は、例えば、その始まりの物理学の状態と比較することはできません。(むしろ数学の特定の枝のそれと。理論を設定します。心理学では実験的な方法と概念的な混乱があります。(他の場合と同様に、概念的混乱と証明方法。実験方法の存在は、私たちが私たちが悩ませる問題を解決する手段を持っていると思います。しかし、問題と方法は互いに渡し合う。ヴィトゲンシュタイン (PI p.232)

「哲学者は常に科学の方法を目の前で見て、科学の方法で尋ねて答え、たまらなく誘惑されています。この傾向は形而上学の本当の源であり、哲学者を完全な闇へと導く」 ヴィトゲンシュタイン・ザ・ブルーブック

「ここでは、哲学的調査において顕著で特徴的な現象に立ち向かう:難易度---私は言うかもしれない---解決策を見つけるのではなく、解決策として認識することではなく、それが予備的なものであるかのように見えるものです。私たちはすでにすべてを言いました。---これから続くものは何もない、これ自体が解決策ではない!...これは、私たちが間違っ

「コンジュリグトリックの決定的な動きがなされ、それは私たちが非常に無実だと思ったまさにそのものでした

。ヴィトゲンシュタイン、PIパラ.308

「しかし、私はその正しさを満たすことによって世界の私の写真を得ませんでした:また、私はその正しさに満足しているの、私はそれを持っていません。いいえ:それは私が真と偽を区別する継承された背景です。ヴィトゲンシュタイン OC 94

「今、それが私たちが関係している因果関係でなければ、心の活動は私たちの前にあります。ヴィトゲンシュタイン「青い書」 p6 (1933年)

「ナンセンス、ナンセンス、あなたは単に記述するのではなく、仮定をしているからです。ここでの説明に頭が悩まされているのなら、最も重要な事実を思い出すことを怠っているのです。ヴィトゲンシュタイン Z 220

「哲学は単に私たちの前にすべてを置き、何も説明も推測もしていません。すべての新しい発見や発明の前に可能な事に「哲学」という名前を付けるかもしれません。ヴィトゲンシュタイン PI 126

「私たちが提供しているのは、好奇心ではなく、人間の自然史に関する本当の発言です。しかし、誰も疑っていない事実に対する観察ではなく、常に目の前にあるため、無言の事実には過ぎないのです。ウィトゲンシュタイン RFM I p142

「哲学の目的は、言語が止まるところに壁を建てることです。ヴィトゲンシュタイン哲学的機会 p187

「言語の限界は、文を単に繰り返さずに文に対応する事実(翻訳)を記述することは不可能であることによって示されています(これは哲学の問題に対する関天的な解決策と関係があります)。ヴィトゲンシュタイン CV p10 (1931年)

「理由文で報告された事実の性質と、エージェントの欲望、価値観、態度、評価とは無関係に合理的なエージェントに拘束力のある行動の理由はありますか?...伝統的な議論の本当のパラドックスは、ヒュームのギロチン、厳格な事実価値の区別を語彙で提起しようとするということです。サール PNC p165-171

"...すべてのステータス機能、したがって、言語を除くすべての制度的現実、宣言の論理的な形式を持つスピーチ行為によって作成されます。問題のステータス機能の形態は、ほとんど常に脱イオン力の問題です。何かを権利、義務、要件として認識することは、行動の理由を認識することです。これらの脱イオン構造は、可能な欲望に依存しない行動の理由を作ります。一般的なポイントは非常に明確です:行動のための欲望ベースの理由の一般的な分野の作成は、行動のための欲望に依存しない理由のシステムの受け入れを想定しました。サール PNC p34-49

「意図的性の最も重要な論理的特徴のいくつかは、即時のフェノロジーの現実を持っていないので、フェノロジーの手の届かないところにあります。なぜなら、無意味さから意味を作るとは意識的に経験されていないからです。存在しません。これは。。。」「と、表見上の錯覚を見る。サール PNC p115-117

"...心と世界の基本的な意図的な関係は、満足の条件と関係があります。そして、命題は世界との意図的な関係に立つことができるものであり、それらの意図的な関係は常に満足の条件を決定し、提案は満足の条件を決定するのに十分なものとして定義されているので、すべての意図的性は命題の問題であることが判明しました。サール PNC p193

「だから、ステータス機能は社会と一緒に保持する接着剤です。彼らは集団的な意図的性によって作成され、彼らはデオントリックな力を運ぶことによって機能します。言語自体の重要な例外を除いて、制度的現実のすべてと、ある意味では人間の文明のすべてが、宣言の論理的な形を持つスピーチ行為によって作成されます。人間の制度的現実のすべては、宣言の明示的な形でスピーチ行為ではない場合を含む(同じ論理的な形を持つ表現)ステータス関数宣言によって存在して作成され、維持されます。サール MSW p11-13

しかし、型作者や脳などの物理システムは、その計算シミュレーションと共有するパターンを特定することによって説明することはできません。...要するに、構文の帰属はそれ以上の因果関係を特定しないという事実は、プログラムが認知の因果関係の説明を提供するという主張に致命的である。物理的なメカニズム、脳、その記述の様々な実際の物理的および物理的/精神的な因果関係があります。新世紀のサール哲学(PNC)p101-103

「要するに、認知科学で使用される『情報処理』の感覚は、本質的な意図的性の具体的な生物学的現実を捉えるに

は抽象化のレベルが高すぎます。私たちは、「私は私に向かって来る車を見る」という同じ文が視覚の意図的性とビジョンの計算モデルの出力の両方を記録するために使用することができるという事実によって、この違いが目がくらんでいます。認知科学で使われている「情報」という意味では、脳が情報処理装置であると言うのは単に誤りです。サール PNC p104-105

「意図的な状態は、満足の条件を表しています。人々は誤って、すべての精神的表現は意識的に考えなければならないと考えています。しかし、私が使用している表現の概念は機能的であり、トポロジ的な概念ではありません。満足の条件を持つものは、意図的性の特徴である方法で成功または失敗する可能性があり、定義上、その満足の条件の表現です。社会現象の意図の構造を、満足の条件を分析することで分析することができます」サールMSW p28-32

「スピーカーの意味。満足の条件に満足の条件の押し付けです。これを行う能力は、人間の認知能力の重要な要素です。言語の使用に不可欠な方法で、一度に2つのレベルで考える能力が必要です。あるレベルでは、話者は意図的に物理的な発話を生成しますが、別のレベルでは発話は何かを表します。そして、同じ二重性がシンボル自体に感染します。あるレベルでは、それは他のレベルと同様に物理的なオブジェクトです。別のレベルでは、それは意味を持っています:それは、状態の一種を表す"MSW p74"

...言語を使用すると、コミットメントを作成せずに言語の規則に従って明示的なスピーチ行為を行う方法がないため、デオントロジーを持つことは避けられません。これは、ステートメントのためだけでなく、すべてのスピーチ行為に当てはまります" MSW p82

「実際の言語を狭く調べるほど、より鋭い言語と要件との間の矛盾が発生します。(論理の結晶性の純度については、もちろん、調査の結果ではなく、要件でした。PI 107

人間の行動に関するすべての議論における主要なテーマは、遺伝的にプログラムされたオートマチズムを文化の影響から分離する必要性である。より高次行動のすべての研究は、高速S1と遅いS2思考(例えば、知覚および他の自動化対性質)だけでなく、S2の文化への論理的な拡張(S3)を引き離す努力である。

サール(S)の作品全体は、最近の性質心理学の遺伝子進化に起因する高次S2/S3社会行動の驚くべき記述を提供し、後のウィトゲンシュタイン(W)は、S2の意識的な性質提案思考に進化したS1の真の唯一の無意識の公理に基づいていることを示しています。

S1は、私たちの不本意の単純な自動化機能です。システム1、高速思考、ミラーニューロン、真の唯一の、非命題的な状態-システム1の真実とUA1を含む私たちの認識と記憶と反射的な行為-機関1の理解-そして感情1-そのような喜び、愛、怒り)は、進化的に後の言語機能は、自発的な表現または記述である一方で、システム2、遅い思考、精神神経細胞の表現または記述です。Truth2とUA2と感情2-喜び、愛情、憎しみ-理由の観点からしか記述できない、仮定、意図、思考、知る、信じるなど、処分(そしてしばしば反事実)を想像する(そしてしばしば反事実) すなわち、システム2を神経化学、原子物理学、数学の観点から記述しようとする試みは、多くの例では意味をなさないのに、SearleとHacker(人間の性質に関する3巻)は解論を求めます。

神が私たちの心を見ることができたとしても、私たちが何を考えているのか見ることができなかったので、これは認知心理学のモットーであるべきだというWのコメントを真剣に受け止めるべきです。はい、未来の認知心理学者は、これらのS1機能は常に因果関係精神状態(CMS)であり、S2の性質は潜在的にCMSであり、実現または目に見えないので、私たちが知覚し、記憶しているものと私たちの反射的な思考と行動を見ることができるとは限りません。これは理論ではなく、私たちの言語、心、人生、文法(W)の記述です。S、Carruthers(C)などは、時には処分を精神状態と呼ぶことがあるので、ここで水を濁らせませんが、Wがずっと前にしたように、S、Hackerなどは、因果関係の言語が高次の出現S2記述には当てはまらないことを示しています。

S1は、無意識、高速、物理的、因果関係、自動、非命題、真の唯一の精神状態で構成され、遅いS2は、多かれ少なかれ、命題(TまたはF)になる行動(潜在的な行動)に対する意識の低下である行動の理由の点でのみ一貫して記述することができる。私には、心の機械的な見方がほぼすべての行動と同じ理由で存在することは明らかです - それは、自動化されたS1ではなく、ゆっくりと(S2)を通して意図的に考えることができるものの観点から説明を求める進化した心理学(EP)のデフォルトの操作です。TPIは無害な哲学的誤りではなく、私たちの人生を支配しているという錯覚を生み出す私たちの生物学に対する普遍的な忘却であり、その結果の中には文明のために渡すものの絶え間ない崩壊があります。

私たちの遅いまたは反射的な、多かれ少なかれ「意識的」(言語ゲームの別のネットワークに注意してください!)第二の自己脳活動は、能力や可能な行動を指す「性質」または「傾向」として特徴付けられるWが精神状態(またはS1状態と同じ意味ではない)に対応し、発生および/または持続時間の明確な時間を持っていません。しかし、Wが広く議論した「知っている」、「理解する」、「考える」、「信じる」などの処分の言葉には、少なくとも2つの基本的な用途があります。一つは、直接的な知覚と記憶に起因する真のみの文章、すなわち私たちの生来の公理的S1心理学(私はこれらが私の手であることを知っている)を指す独特の哲学的使用(しかし、日常の使用に卒業する)です。彼らは因果自己参照(CSR)です-すなわち、猫がそれを真実にし、通常の場合はテストが不可能であるのを見て、S2の使用は、処分として通常の使用であり、行動することができ、真実または偽りになる可能性があります(私は私の家の道を知っています)。

システム1の不本意な速い思考の調査は、「認知錯覚」、「プライミング」、「フレーミング」、「ヒューリスティック」、「バイアス」などの名前で心理学、経済学、その他の分野に革命をもたらしています。もちろん、これらの言葉を使用する方法はますます有用ではなく、研究や議論は「純粋な」システム1から1と2の組み合わせ(Wが明らかにした標準)までさまざまですが、システム2の思考や意図的な行動は「認知モジュール」の複雑なネットワークの多くを含まないと起こり得るので、おそらく遅いシステム2の処分思考だけではありません「推論エンジン」、「脳内反射神経」、「オートマチズム」、「認知公理」、「背景」または「岩盤」--Wと後のサールが私たちの進化心理学(EP)と呼ぶように。

これに関する1つの方法は、無意識の自動システム1がシステム2のより高い皮質意識的性格を活性化し、潜在的な行動にコミットする特定の方法で世界を見ていることを他の人に知らせる喉の筋肉収縮をもたらすことです。言語学的またはプロトに対する大きな進歩-グロス筋肉の動きだけが意図に関する非常に限られた情報を伝えることができた言語的相互作用。

デオンティック構造または「社会的な接着剤」は、自動普遍的な文化的デオンティック関係の広い配列に個人的な開発中に容赦なく拡大されるS2の遅い性質を生成するS1の自動高速アクションです(S3)。私はこれがかなりよく行動の基本的な構造を記述すると思います。

これらの認知と意志の記述は、サールが長年使用してきたMSWの表2.1に要約されており、私が作成した拡張物の基礎です。私の見解では、私のS1、S2、S3用語とWの真のみの対提案(性質)の記述を使用して、これを現代の心理学研究に関連付けるのに非常に役立ちます。したがって、CSRはS1の真のみの知覚、記憶および事前の意図(原因は世界に由来する)を参照し、S2は信念や欲望(原因は心由来する)などの命題(真または偽のテスト可能な)性質を指す。

したがって、S1は上向きの因果関係(世界から心)であり、コンテンツ(表現や情報が欠けている)であり、S2はコンテンツを持ち、下向きに因果関係(世界への心)であることを認識します(例えば、ハットとミインの「過激なエナジズム」のレビューを参照)、私は段落をMSW p39から変更します。

要するに、知覚、記憶、再帰的な事前意図と行動('will')は、S1真のみの公理的EPの自動機能によって引き起こされます。事前の意図や意図を通じて、私たちは物事がどうなるかと思うかと、彼らがどう思うかと一致するようにしています。私たちは、信念、欲望(そして想像力-欲望-時間が意図からシフトし、切り離された)と私たちの遅い思考の他のS2提案的な性質は、後に第二の自己を進化させ、CSR急速な自動原始的な真の唯一の反射的なS1に完全に依存している(彼らのCOSを持っている)。言語および神経生理学では、COS(すなわちS1を使用した)との因果関係が過去または未来を表す、現在のS1とは異なり、時間シフトされる、意図(事前の意図)や記憶などの中間またはブレンドされたケースがあります。S1とS2は互いにフィードし、多くの場合、S3の学習された脱イオン文化的関係によってシームレスに調整されているので、私たちの通常の実験は、私たちが行うすべてを意識的に制御することです。私たちの人生を支配する認知錯覚のこの広大Searleなアリーナは、「表現型錯覚」と表現しています。

これは、Wの第3時代の作品と現代心理学の観察の両方から、非常に簡単で容赦ない方法で、「意志」、「自己」、意識は、システム1の公理的な真の要素であり、彼らの虚偽を示す可能性(伝言不能)はありません。Wは何度も素晴らしく明確にしたので、彼らは判断の基礎であり、判断することはできません。私たちの心理学の真の唯一の公理は明らかではありません。

Carruthersなどと同様に、Searleは時々S1(すなわち、記憶、知覚、反射的行動)が命題(すなわち、真偽)構造を有することを述べている(例えば、p66-67 MSW)。私が上記で述べたように、他のレビューでは何度も、Wが正しいことは明らかですし、S2だけが命題であり、S1は公理的で真のみの行動を理解することが基本的なことです。S1の遺伝的、公理的な意図的な性がS2のそれを生成するので、彼らは両方ともCOSとフィットの方向(DOF)を持っていますが、S1が同じ意

味で提案的であったならば、それは懐疑的なことが分かりやすいことを意味し、Wが戻る前の哲学であった混乱は戻り、実際には人生は不可能です。Wが数え切れないほどの時間と生物学のデモンを示したように、生命は確実性に基づいている必要があります - 自動化された無意識の急速な反応。常に疑いを持ち、反映するために一時停止する生物は、進化も人も哲学も死なない。

声の筋肉の振動の短波長は、他の筋肉の収縮よりもはるかに高い帯域幅情報転送を可能にし、これは視覚情報のために平均数桁高いので、言語と書き込みは特別です。

思考は命題であり、真または虚偽の記述を扱うので、S1の真のみの自動認知機能とは対照的に、テストできる典型的なS2の性質であることを意味します。あるいは、自発的な発話と行動はS1の原始的な反射神経または第一言語ゲーム(PLG)であり、意識的表現はS2の性質二次言語ゲーム(SLG)であると言えます。それは些細なことのように聞こえますが、これは行動がどのように機能するかのもっと基本的な声明であり、ほとんど誰もそれを理解していません。

私はMSWのp127に関するSの実用的な理由の要約を次のように翻訳します:「私たちは、通常、欲望-独立した行動理由(DIRA-すなわち、行動のための欲望を含む)私たちの欲望(脳化学を変更する必要がある)に屈します。欲望は、私たちの包括的なフィットネス(私たち自身と密接に関連する遺伝子の生存率の増加)に役立つ筋肉の動きで一般的に遅かれ早かれ生じる行動に対する性質を生み出す、しばしば相互利他主義のために、空間と時間に置き換えられました。そして、私はDIRA2/3を実行する方法のp129に関する彼の説明を「パラドックスの解決は、長期的な包括的なフィットネスを提供する無意識のDIRA1が、しばしば短期的な個人的な即時の欲求を上書きする意識的DIRA2を生成することです」と述べています。エージェントは確かに意識的にDIRA2/3の近接的な理由を作成しますが、これらは無意識のDIRA1(最終的な原因)の非常に制限された拡張です。

インクルーシブフィットネスによる進化は、S2の意識的なゆっくりとした思考(しばしばS3の文化的拡張に変更される)を引き起こすS1の無意識の急速な反射的因果作用をプログラムしており、S1によって身体および/または音声筋肉の活性化をもたらす行動の理由を生み出す。一般的なメカニズムは、神経伝達と脳の標的領域における神経調節剤の変化の両方を介してである。全体的な認知錯覚(S'フェノメノロジカル錯覚、ピンカー「ブランクスレート」、トゥービーとコスミデス「標準社会科学モデル」)は、S2/S3が私たちが十分に認識し、制御している理由で意識的に行動を生み出したということですが、現代の生物学と心理学に精通している人は誰でもこの見解は信用できないことがわかります。

Wは意味を構成する精神状態がないことを正しいが、Sは(上記のように)意味の行為を特徴付ける一般的な方法があることを指摘する - "スピーカーの意味..は、満足の条件に満足の条件を押し付ける行為であり、精神状態ではありません。これは、私用言語に対するWの議論の別の声明(個人的解釈と公的にテスト可能なもの)と見なすことができます。同様に、ルールに従って解釈すると、彼らは公的にチェック可能な行為でしかできないので、私的なルールや私的な解釈もありません。そして、多くの(最も有名なクリプケ)がここでポートを逃し、Wが頻繁にコミュニティの練習に紹介して、言語と社会的慣習の根底にある任意の公共慣行だと誤解されていることに注意する必要があります。Wは、そのような慣習は、彼がしばしば背景と呼ぶ先天的な共有心理学を与えられただけで可能であり、これはすべての行動の根底にあり、テーブル内でスキーマ化されていることを何度も明らかにしています。

私は私の他のレビューで述べたように、いくつかは、完全に後のWを理解している場合、S1、S2フレームワークを欠いて、それは驚くべきことではありません。このように、S1によるS2の支配として見ている間、なぜ物体を想像できないのか理解できる。私の内面的な経験のテストはないので、ジャックの顔を想像したときに思い浮かぶのはジャックのイメージです。同様に、S1、S2、または組み合わせを参照できる読み取りと計算を使用して、S2の条件をS1プロセスに適用する誘惑が常にあり、テストの欠如によってS2の条件が適用されなくてはなさない。この誘惑と戦うために使用されるWの有名な例の2つは、ボールなしでテニスをすることです('S1テニス')、そして「頭の中で計算する('S1計算')」というS2計算しか持っていなかった部族は不可能でした。

「遊び」と「計算」は、実際の行為または潜在的な行為を表しています - すなわち、彼らは処分の言葉ですが、私が前に言ったように、もっともらしい反射的なS1が使用しているので、本当に「遊ぶ1」と「遊び2」などを書くことによってそれらをまっすぐに保つべきです。しかし、私たちはこれを行うように教えられているので、ファンタジーとして「計算1」を却下するか、後でまでその性質を未定のままにすることができると思っています。したがって、Wの有名なコメントのもう一つ - 「結びついたトリックの決定的な動きがなされ、それは私たちが非常に無実だと思ったまさにそのものでした。つまり、最初の数文またはしばしばタイトルは、現在の文脈で言語の明確な使用を妨げる物事(言語ゲーム)を見る方法に1つをコミットします。

文は、それが明確なCOSを持っているとき、思考を表現する(意味を持つ)、これは公共の真実の条件を持つ意味します。したがって、Wからのコメント:「私が言語で考えるとき、言葉の表現に加えて私の心を通る「意味」はありません:言語自体が思考の乗り物です。そして、私が言葉の有無にかかわらず考えるならば、私が(正直に言う)考えは、他に可能な基準(COS)がないのです。したがって、Wの素敵な格言(p132 Budd)「願いと充実が会える言語である」と「形而上学的なものすべてと同様に、思考と現実の調和は言語の文法に見られるのです。そして、ここで、Wの「文法」は通常、言語の論理的構造として解釈することができ、理論化と一般化に対する彼の頻繁な警告にもかかわらず、これは哲学と高次記述心理学の広範な特徴付けと同じくらい広いものです。

同様に、「ジャックの私のイメージが彼のイメージであることは何が本当ですか?」想像することは別の性質であり、COSは私の頭の中にあるイメージがジャックであり、彼の写真を見せれば「はい」、他の誰かに見せられたら「はい」と言う理由です。ここでのテストは、写真が私が持っていた曖昧なイメージと一致しているのではなく、私が彼のイメージであることを意図していた(COSを持っていた)ということです。したがって、Wからの有名な引用:「もし神が私たちの心を調べていたら、彼は私たちが誰と話していたか(PI p217)を見ることができなかったでしょう」と、表現の問題全体が「それは彼です」と「..画像にその解釈を与えるものは、それがあつたパスです」、またはSがそのCOSを言うように、Wの合計(p140 Budd)は、「それが常に最終的に来るものは、それ以上の意味がなければ、彼はそれが起こるべきだという願いを呼び出すということです。私の願いが叶う前に私が望むものを知っているかどうかという疑問は全く起こり得ません。そして、いくつかのイベントが私の願いを止めるという事実は、それがそれを満たすことを意味するものではありません。私の願いが満たされていたら、おそらく私は満足すべきではなかったでしょう。「私はそれを得る前に私が何を待っているのか知っていますか?」話すことを学んだなら、私は知っている」

処分の言葉は、私がCOSと私の精神状態、感情、関心の変化などを満たすと受け入れる潜在的なイベント(PE)を指し、処分の機能には関係ありません。私は、私が表現するCOSに、私が自分自身を取る状態に応じて、希望、希望、期待、思考、意図、望みなどを望んでいます。思考と意図は、反射的なS1筋肉収縮、特にスピーチの収縮によるのみ表現することができるS2の性質である。

合理性の論理的構造(高次思考の記述心理学)に関する合理的なスタートを切ったので、私がここ数年で構築したこの作品から生じる意図的性の表を見ることができます。これは、今度はヴィトゲンシュタインに多くを負っているサールからはるかに簡単なものに基づいています。私はまた、過去9行に証明されている思考プロセスの心理学で現在の研究者によって使用されている変更されたフォームテーブルに組み込まれています。ピーター・ハッカーの人間性に関する最近の3巻のものと比較することは興味深いはずですが。この表は、S1とS2の間の多くの(おそらくすべて)経路が双方向である多数の(おそらくすべて)経路を持つ、最終的な分析や完全な分析ではなく、私が見た他のどのフレームワークよりも完全で有用な動作を記述するためのヒューリスティックとして提供します。また、S1とS2の間の非常に区別、認知と意欲、知覚と記憶、感情、知ること、信じる、期待するなど、任意です-つまり、Wが示したように、すべての単語は文脈的に敏感であり、ほとんどがいくつかの全く異なる用途(意味またはCOS)を持っています。

多くの複雑なチャートは科学者によって公開されていますが、私は行動について考えるとき(脳機能について考えるのではなく)最小限の有用性を見つけます。説明の各レベルは、特定のコンテキストで有用であるかもしれませんが、私は粗いまたは細かいことが有用性を制限していることがわかります。

合理性の論理的構造(LSR)、または心の論理的構造(LSM)、行動論理構造(LSB)、思考の論理的構造(LST)、意識の論理的構造(LSC)、人格の論理構造(LSP)、意識の記述心理学(DSC)、高次思考の記述心理学(DPHOT)、古典哲学用語。

**システム1は不本意、反射的、または自動化された「ルール」R1であり、思考(認知)はギャップがなく、自発的または審議的な「ルール」R2であり、意欲(Volition)は3つのギャップを持っています(サールを参照)**

私は、サールの「満足の条件に満足の条件を押し付ける」を「筋肉を動かすことによって精神状態を世界に関連付ける」に変更することで、行動をより明確に記述できることを示唆しています。話し、書き込み、そして彼の「フィットの世界の方向への心」と「世界からフィットする方向を気にする」による「原因は心の中に由来する」と「原因は世界に由来する」S1は、S2がコンテンツを持ち、下向きに因果関係(世界への心)を持っている間、上向きの因

果関係(世界から生じる)と満足のいかない(表現や情報を欠いている)だけです。行動をより明確に説明する 私はこの表の用語を採用しました。





## 意思決定研究から

	好きになる傾向がある*	感情	メモリ	知覚	欲望	PI**	IA***	アクション / 語
サブリミナル効果	ない	はい/ ない	はい	はい	ない	ない	ない	はい/ ない
連想 (A) ルールベース (RB)	RB	A/RB	A	A	A/RB	RB	RB	RB
状況依存 (CD) 抽象化 (A)	A	CD/A	CD	CD	CD/A	A	CD/A	CD/A
シリアル (S) 平行 (P)	S	S/P	P	P	S/P	S	S	S
ヒューリスティック (H) 分析 (A)	A	H/A	H	H	H/A	A	A	A
アクティブが必要 記憶	はい	ない	ない	ない	ない	はい	はい	はい
一般的なインテリジェンス 依存	はい	ない	ない	ない	はい/ ない	はい	はい	はい
認知的ローディング 抑制	はい	はい/ ない	ない	ない	はい	はい	はい	はい
覚醒は 促進 (F) または抑制 (I)	I	F/I	F	F	I	I	I	I

S2の満足度の公共条件は、多くの場合、Searleと他の人によってCOS、表現、真実作成者または意味(または自分でCOS2)と呼ばれ、S1の自動結果は他の人(または自分でCOS1)のプレゼンテーションとして指定されます。

\*設定、機能、設定、表現、可能なアクションなど

\*\* Searleの以前の意図

\*\*\* Searleの意図の実行

\*\*\*\* Searleのフィット方向

\*\*\*\*\*サールの因果関係

\*\*\*\*\* (精神状態がインスタンス化されます-それ自体を引き起こしたり実行したりします)。サールはこれを因果的に自己参照と呼んでいた。

\*\*\*\*\* Tversky / Kahneman / Frederick / Evans / Stanovichによって定義された認知システム。

\*\*\*\*\*異なる場所、異なる時間 (TT) 現在の時刻と場所 (HN)

特定の文脈で言語の可能な用途(意味、真実作成者、満足の条件)を記述した後、私たちはその関心を使い果たし、説明(哲学)の試みは真実から遠ざかるというヴィトゲンシュタインの発見を常に念頭に置くべきです。このテーブルは、非常に単純化されたコンテキストフリーのヒューリスティックであり、単語の各使用は、そのコンテキストで調べる必要があることに注意することが重要です。文脈変動の最良の検討は、ピーターハッカーの人間の性質上の最近の3巻で、この1つと比較されるべき多数のテーブルとチャートを提供しています。

ヴィトゲンシュタイン、サール、および現代の2つのシステムビューからの行動の分析の包括的な説明を望む人は、私の記事ルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタインとジョン・サール2<sup>nd</sup> edで明らかにされた哲学、心理学、心と言語の論理的構造を参照することができます(2019)。



## テーブルの説明

約100万年前、霊長類は喉の筋肉を使って複雑な一連のノイズ(すなわち、原始的なスピーチ)を作り、現在の出来事(プライマリまたはプリミティブ言語ゲーム(PLG)と呼ばれる反射作用)を記述する能力を進化させました。因果関係的に自己参照、自動送信、情報なし、正確な時間と場所を持つ唯一の精神状態)、そして徐々に記憶、態度、潜在的な出来事(過去と未来、しばしば反事実、条件付きまたは架空の好み、条件付きまたは架空の好み、二次言語ゲームまたは洗練された言語ゲーム(SLG)を記述する空間と時間の変位を包含するさらなる能力を開発した、表現的、真または偽の命題の態度思考、正確な時間を持たないし、能力であり、精神状態ではない)。好みは直感、傾向、自動腫瘍学的ルール、行動、能力、認知モジュール、性格特性、テンプレート、推論エンジン、傾斜、感情、提案態度、鑑定、能力、仮説です。一部の感情はタイプ2の環境設定(W RPP2 148)です。「私は信じています」「彼は愛している」「彼らは考える」は、通常、時空に置かれている可能性のある公共の行為の記述です。私自身に関する私の一人称声明は真のみの(嘘を除く)、他人に関する第三者の声明は真実または虚偽です(ジョンストン'ウィトゲンシュタイン:内面を再考する』の私のレビューを参照)。

知覚、反射的行動、記憶に反する意図的な状態のクラスとしての「好み」は、1930年代にウィトゲンシュタイン(W)によって最初に明確に記述され、「傾向」または「性質」と呼ばれていました。彼らはラッセル以来一般的に「命題的態度」と呼ばれていますが、これは、Wやサール(例えば、cf意識と言語p118)によって示されているように、しばしば命題や態度ではなく、信じ、意図し、知り、記憶するので、誤解を招くフレーズです。それらは、本質的な、観察者の独立した精神的表現である(システム1の表示またはシステム2への表現とは対照的に - Searle- C+L p53)。

彼らは時間や空間に置き換えられる潜在的な行為であり、進化的により原始的なS1の知覚記憶と反射的な行動は常に今ここにあります。これは、システム2を特徴づける一つの方法です - システム1の後に脊椎動物心理学の大きな進歩 - イベントを表現し、別の場所や時間に発生していると考えられる能力(Searleの第3の反事実想像力の教員は認知と意志を補完します)。S2の性質は行動する能力です(収縮筋はS1を介してスピーチや身体の動きを生み出し、その時点で因果関係と精神状態になります)。時には、彼らは意識的になることができますので、気に入ることができるので、気質は無意識とみなされることがあります - フィル問題1:45-66(1991)。

知覚、記憶、反射(自動)アクションは、S1またはプライマリランゲージゲーム(PLGの--例えば、私は犬を見る)と記述することができます、通常の場合、NO TESTSは可能なので、真のみであることができます。

処分は二次LG(SLGの-例えば私は犬を見て信じています)と説明することができます、私自身の場合でも私のために行動しなければなりません(つまり、私が行動するまで私が何を信じ、考え、感じるかを知るにはどうすればよいですか?性質はまた、話されたり書かれたりして他の方法で行動すると行動となり、これらの考えはすべてヴィトゲンシュタイン(1930年代半ば)によるものであり、行動主義ではありません(ヒンティッカ&ヒンティッカ1981年、サール、ハットなど)。ヴィトゲンシュタインは進化心理学の創始者と見なされ、彼の作品は、私たちの公理的システム1心理学の機能とシステム2との相互作用のユニークな調査とみなすことができます。それをよく理解している人はほとんどいませんが(そして間違いなく今まで完全に誰もいません)、それは彼の古典的な本の合理性(2001)でこのテーブルのシンプルなバージョンを作ったジョン・サールによってさらにいくつかのによって開発されました。これは、1911年の彼の最初のコメントから開発された進化心理学の公理的構造に関するWの調査に拡大し、彼の最後の作品「確実性(OC)」(1950-51年に書かれた)で美しくレイアウトされています。OCは、行動や認識論、オントロジー(おそらく同じ)、認知言語学、DPHOTの基礎石であり、私の見解では、哲学(記述心理学)、したがって行動の研究において最も重要な単一の研究です。知覚、記憶、反射行動、基本的な感情は、心が自動的に世界に適合するPLGで記述できる原始的な部分的に非自発的な精神状態である - S1は上向きの因果関係(世界から心の方向を気に direction of fit)と無満足(表現または情報を欠いている)です(疑いのない自己参照です - Searle)。好み、欲望、意図は、心が世界に合わせようとするSLGで記述できる、ゆっくりとした思考意識の自発的能力の記述 - であり、S2は内容を持ち、下向きに因果関係があります(世界のフィット方向への心)。

行動主義と私たちのデフォルトの記述心理学(哲学)の他のすべての混乱は、S1が機能しているのを見ることができず、Sが表現論錯覚(TPI)と呼ぶ二次言語ゲーム(SLG)ですべての行動を記述することができないために生じます。Wはこれを理解し、彼の作品を通して行動する言語(心)の何百もの例で比類のない明確さでそれを説明しました。理由はワーキングメモリにアクセスするので、私たちは意識的に明らかに見えるが、典型的には間違っただ理由を使って行動を説明します(現在の研究の2人の自分自身)。信念やその他の性質は、世界の事実(心と世界の適合方向)を一致させようとする思考として記述され、Volitionsは行動する意図(事前意図 - PI、アクションIA-Searleの意図)と世界を思考に合わせようとする行為です。サール例えば、C+L p145、190)。

時には、信念やその他の処分に到達する推論にギャップがあります。傾きの言葉は、精神状態(例えば信念)を記述するように見える名詞として、または能力(行動するエージェントまたは行動するかもしれないエージェント)を記述する動詞として使用することができ、しばしば誤って「命題態度」と呼ばれます。

認識は記憶となり、私たちの先天的なプログラム(認知モジュール、テンプレート、S1の推論エンジン)は、これらを使用して性質を生み出します(実際または潜在的なPUBLIC ACTSは、傾斜、好み、能力、S2の表現とも呼ばれます)と Volition (意志)-そして、考えたり、意欲的な(すなわち、私的な言語を持たない)私的な精神状態の言語(概念、思考)はありません。

高等動物は考え、行動し、その程度まで彼らは公共の心理学を持っています。

知覚:(「X」は真実です): 聞く, 参照, 匂い, 痛み, タッチ, 温度

Mエモリーズ: 思い出し、夢を見る(S1)

好み、傾斜: 性質 (X が真になる可能性があります) (S2)

クラス1: 信じる、判断する、思考する、表現する、理解する、選択する、決定する、好む、解釈する、知る(スキルと能力を含む)、出席(学習)、経験、意味、記憶、意図、考え、望む、期待する、望む、望む、(特別なクラス)、見る(側面)、

クラス2: デカリングモード -- 夢を見る、想像する、嘘をつく、予測する、疑う

クラス3: 感情: 愛する、憎む、恐れる、悲しみ、喜び、嫉妬、うつ病。彼らの機能は、迅速な行動のための知覚と記憶の情報処理を容易にすることによって、包括的なフィットネス(期待最大ユーティリティ)を増加させるために好みを調節することです。怒りや恐怖などのS1感情と、愛、憎しみ、嫌悪感、怒りなどのS2の間には、いくつかの分離があります。

欲望: (私は「X」を真実にしたい - 私は私の考えに合わせて世界を長くしたい): 憧れ, 希望, 期待, 待っています, 必要と, 必要と, 行う義務

意図:(私は「X」真実を作ります)意図

アクション(私は「X」真を作っています): 演技、話す、読む、書く、計算、説得、ショー、実証、説得力のある、試みている、試み、笑う、演奏、食べる、飲む、泣く、断定(記述、教育、予測、報告)、有望な、作るか、地図を作るか、または使用、書籍、図面、コンピュータプログラム - これらは公開および自発的であり、他の人に情報を転送します。

すべての単語は、複雑な言語ゲーム(行動につながる思考)の一部であり、私たちの生活の中で様々な機能を持っており、オブジェクトの名前や単一のタイプのイベントの名前ではありません。

私たちは車を運転するだけでなく、それを所有し、それを見て、その写真を見て、それについて夢を見て、それを想像し、それを期待し、それを覚えています。人間の社会的相互作用は、社会心理学のスク립トやスキーマ(推論エンジンに編成されたニューロンのグループ)とほぼ同等の認知モジュールによって支配され、知覚と記憶を持ち、意図と行動につながる好みの形成につながります。意図的または意図的な心理学は、これらすべてのプロセスまたは行動につながる唯一の好みであると取ることができ、より広い意味では、神経生理学、神経化学および神経遺伝学を含む場合の認知心理学または認知神経科学の対象である。進化心理学は、先行する全ての機能の研究、または行動を生み出すモジュールの動作の研究とみなされ、その後、進化、開発、および好み、意図、行動を伴う個々の行動において共に広がっています。私たちの心理学の公理(アルゴリズムまたは認知モジュール)は遺伝子に含まれているため、生物学、心理学、哲学(記述心理学)、数学、論理、物理学、コンピュータプログラムを介して、それらがどのように機能するかを明確に説明し、それらを拡張することで理解を深めることができます。Hajek(2003)は、条件付き確率として性質の分析を与え、それらはSpohn等によってアルゴリズム化される。

意図的性(認知または進化心理学)は、意識を生み出し、必要とする認知モジュール(しかし定義)に生まれつきプログラムされた行動の様々な側面で構成され、意志と自己と正常な人間の成人では、すべての性質が純粋であり、公共

の行為(例えば、言語)を必要とし、支配と相互利他主義を介して私たちの包括的なフィットネス(時には議論の余地のあるベイズユーティリティ最大化と呼ばれる最大の期待されるユーティリティ)を高め、満足の条件に満足の条件を課すために、関係(サールによる行動のための欲望独立理由と呼ばれる- DIRAと呼ばれる)に私たちをコミットし、満足の条件に満足の条件を課す - Searle-(すなわち、公共の筋肉を介して世界に思考を関連させる)言語、芸術、音楽、性別、スポーツなど)。この基本は、1930年代から1951年までの私たちの最大の自然心理学者ルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタインによって理解されましたが、1911年にさかのぼる明確な予感(「心理現象の一般的な本。正確さではなく、全体の視点で努力しています」RPP Vol 1 P895 cf Z P464)、そして多くの人による洗練されたが、とりわけ1960年代に始まったジョン・サールによって。私たちのS2の意図的性の多くは、学位や種類(主に言語ゲーム)を認めています。Wが指摘したように、傾斜(例えば思考)は時々意識的で、審議的である。すべてのテンプレート(関数、概念、言語ゲーム)は、有用でなければならないので、いくつかの文脈であいまいなエッジを持っています。少なくとも2つのタイプの思考(つまり、2つの言語ゲームまたは性質動詞'思考'を使用する方法)-部分的な意識(W)を意識せず、合理的ではない非合理的な(W) S1 と S2 の高速で低速な思考として記述されています。これらは単なる現象ではなく言語ゲームと見なすのに便利です(W RPP2 129)。精神現象(私たちの主観的または内部の「経験」)はエピソードメナルであり、基準が不足しているため、自分自身にとっても情報が不足しているため、コミュニケーション、思考、心の役割を果たしません。すべての性質(傾向、提案的態度)のように考えることは精神状態ではなく、スピーチ、ライティング、その他の筋肉収縮において公的行為(COSを実現)するまで情報は含まれていません。私たちの認識と記憶は、S2を介して公共の行動に現れるとき、情報(COSを意味する)を持つことができます。

メモリと知覚は、モジュールによって処分に統合され、行動すると心理的に効果的になります。言語を発展させることは、言葉を行為に代わる生来の能力を明らかにすることを意味する。一般的な用語TOM(心の理論)は、(機関のUA理解)と呼ばれるはるかに優れています。

意図的性は、意識、自己、思考の生来の遺伝的にプログラムされた生産であり、意図につながり、筋肉を収縮させることによって行動を起こします。したがって、「提案的態度」は、通常の直感的な合理的または非合理的なspeechと行動のための紛らわしい用語ですが、私はそれがまだWとSに不慣れな人によって広く使用されているように、私は処分のための同義語としてそれを与えます。神経生理学を研究する感情などは、「心」(思考、言語)がすでに完全なパブリックビュー(W)にあるので、私たちがすでに知っているよりも(思考、言語)心の仕組みについて何も教えてくれません。神経生理学、生化学、遺伝学、量子力学、弦理論など、あらゆる現象は、物理学と化学の法則に従う(記述できる)原子で表が構成されているのと同じくらい、私たちの社会生活とは無関係です。Wが有名に言ったように「何も隠されていない」。心に関する関心(思考、言語)に関する関心のすべては、我々は言語の働きだけを注意深く調べる場合は、見て開いています。

言語は、社会的相互作用を促進し、資源の収集、生存と再生を促進するために進化しました。その文法は自動的に機能し、分析しようとするとき非常に混乱します。単語と文は、文脈に応じて複数の用途があります。私は信じて、私は食べると私は信じているように深く異なる役割を持っていると信じているか、私は信じているし、彼は信じています。私は「私は信じている」のような傾斜動詞の現在の時制の一人称表現的な使用は、私の可能性のある行為を予測する能力を記述し、私の精神状態を記述したり、それらの言葉の通常の意味での知識や情報に基づいていません(W)。「雨が降っていると信じている」「雨が降っていると信じていた」「雨が降ると信じている」「雨が降ると思う」「雨が降ると思う」「雨が降ると思う」は、情報(または誤った情報)を伝えようとする時空に置き換えられる可能性のある検証可能な公共の行為であり、彼らの真実(または偽偽)メーカーであるCOSを持っています。

事前の意図なしに話された非反射的または非合理的な(自動)単語は、2000年に哲学心理学の論文のDMSIによってW&その後DMSIによって行為としての言葉と呼ばれてきました。

知覚、記憶、いくつかの感情、そして多くの「タイプ1の性質」は、S1の反射神経と呼ばれる方が良く、自動、非反射、非提案および非アティティディショナル機能であり、私たちの進化心理学(ウィッテンシュタインの後のMoyal-Sharrock)のヒンジ(公理、アルゴリズム)の機能です。

さて、「心の不透明さ」(OM)に関するいくつかのコメントのために。

序文の最初のページを終える頃には、この本はもう一つの絶望的な混乱(哲学の標準)だと気づきました。彼は、語学ゲームの繊細さ(例えば、「私は目を覚ましていることを知っている」「私は何を意味するか知っている」と「私はそれが何を意味するか知っている」)の劇的に異なる使用や、処分の性質(彼は誤解を招き、時代遅れの用語「命題的態度」によって呼び出す)を把握していないことを明らかにし、私言語のような概念に基づいて行動についての彼の考えに基づいていました「内話」の内省と心の計算記述は、世紀のW 3/4とそれ以来、Sと他の多くの人によって休

息するために置かれました。しかし、私は人間の行動に関するほとんどの本が同じように混乱しており、彼がより高い秩序思考(HOT)に対応する脳機能に関する最近の科学的研究の要約を与えるつもりであることを知っていたので、私は続けました。

哲学や認知科学の本を読む前に、インデックスと文献目録に行って誰を引用しているかを確認し、一般的に非常に有益なピアフィードバックを持っているので、BBSのレビュー、特に記事を見つけようとします。前述のように、WとSはこの分野で最も有名な名前の2つですが、インデックスと文献目録では、Sやハッカーのためのものではなく、Wの些細な言及が3つだけ見つかりました。予想通り、哲学雑誌からのいくつかのレビューは役に立たなかったし、この本の彼のプレシスに対するBBSの反応は壊滅的に見える - しかし、特徴的に(Wの1つの言及を除いて) - 彼らもWSについて手がかりがありません。さらに顕著なのは、彼は2012年のように最近多くの参考文献を含んでいるが、2009年のBBSの記事はそれらの中にはないし、私が思い出すことができる限り、彼はこの本の中でその批判に実質的な反応を提供していない。その結果、強力なWSに触発されたLSRフレームワークは完全に存在せず、すべての混乱が取り除かれて、ほぼすべてのページに豊富です。上記と私の他のレビューを読んで、BBSの記事(ネット上ですぐに無料で入手できる)であれば、この本のあなたの見解(そしてこのアリーナでのほとんどの書き込み)は大きく異なる可能性があります。もちろん、BBSの大きな欠陥は明らかです---コメント者は1ページのコメントと返信を受け取りませんが、著者は長い記事と長い返信を受け取るので、常に勝っているように見えます。しかし、CのISA理論は、ほとんどの(すべて?)哲学理論と同様に、すべての異議を「説明する」ように変える形のシフターであることは明らかです。したがって、意味のある理論(実際には記述)と事実と結び付けられた曖昧な概念との間の線は、何も「説明しない」という曖昧な概念はぼやける。もちろん、Cは彼の理論がそのような観察を「予測する」とよく言いますが、これは事実の後に起こり、もちろん反対の理論の形も変わります。強力な理論は、誰も期待していなかったもの、そして彼らが期待していたものとは逆に予測します。我々はまた、事実を記述し、otioseの「説明」を避けるためにWの絶え間ない差し止め命令を思い出します。

内省と私用言語に対するWの決定的な議論は、私の他のレビューで注目されており、非常によく知られています。基本的には、AとBを区別するためのテストが必要で、テストは外部と公開のみのテストを受ける必要があります。彼は有名に「箱の中のカブトムシ」でこれを描いた。私たち全員が開けることができない箱やX線撮影などがあり、「カブトムシ」の中にあるものを呼び出すと、「カブトムシ」は言語に何の役割も持たず、すべての箱に異なるものが含まれているか、空になる可能性があります。だから、私だけが知ることができる私言語はなく、「内なるスピーチ」の内省もありません。Xが公に実証できない場合、それは私たちの言語の単語であってはなりません。これは、カーラター(C)のISA心の理論だけでなく、彼が参照する他のすべての「内なる感覚」理論と他の本や記事の巨大な#を撃墜します。私は、内省の概念と処分言語(提案的態度)の機能のWの解体を上記とバッド、ジョンストンとSの本のいくつかの私のレビューで説明しました。基本的に、S1で働く因果関係と単語とオブジェクトモデルはS2には当てはまらないことを示しました。

ISAに関しては、多くの人が「思考の言語」という考えを解体してきましたが、私の見解では、BBB p37のWに劣らず、「正しいが、その目的と類似していない絵の可能性を念頭に置けば、文と現実の間の影の補間はすべてのポイントを失います。今のところ、文自体はそのような影として役立つことができます。文は、それが表すものと少しも類似していない、ちょうどそのような絵です。

哲学理論は、特定のケースで言語がどのように使用されているかについての混乱を解消するという哲学の本当の役割(W)は、哲学理論は実用的な影響を全く持たないということです。様々な「物理的理論」と同様に、他の漫画の人生観(すなわち、標準的な宗教的、政治的、心理的、社会的、生物学的、医学的、経済的、人類学的、歴史的見解)とは異なり、小さなフリンジ以上に把握されるには大脳と難解すぎるし、その支持者でさえ日常生活の中でそれを完全に無視することは非常に非現実的です。同様に、標準社会科学やブランクスレートモデルなどの他の学術的な「生命理論」は、社会学、人類学、ポップ心理学、歴史、文学によって広く共有されています。しかし、大小の政治運動、時には経済学は、物理学や生物学(人間性)を無視する既存の漫画を生成または受け入れることが多く、私たちの迷信(私たちの生まれつきの心理的デフォルト)を強化する地上または宇宙を強制し、地球に無駄を置くのに役立ちます(遺伝子の複製と資源の消費を促進するためにそこにあるほぼすべての社会慣行と機関の本当の目的)。ポイントは、これらは哲学的な漫画と連続体にあり、同じソースを持っていることを認識することです。私たち全員は、若くて少数の人が成長したときに、人生の様々な漫画の見解を持っていると言えます。

また、Wがずっと前に述べたように、接頭辞「meta」はほとんどの(おそらくすべて)の文脈で不要で混乱しているので、この本の「メタ認知」のために、私たちまたは他の人が信じているか知っていることを考えることは他の人と同じように考えており、「マインドリーディング」(私の用語ではUA)と見なされる必要はありません。Sの言葉では、COSは何が考えられているかのテストであり、彼らは「雨が降っている」と同じです、私はそれが雨だと信じてい

ます」「彼はそれが雨だと信じています」(同様に「知っている」、願い、裁判官、理解しているなど)、すなわち雨です。これは、Cが推進する性質(「提案的態度」)の「メタ認知」と「心読み」に関して留意する重要な事実です。

BBSの回答の1つは、Cがより高い自己の存在を前提としているため(S2からS1へのハード削減を目的としている)ことを除いて、これらのアイデアを非常に良いと思うデネット(Cの幻想のほとんどを共有している)でした。もちろん、書き、読書、そして何かのすべての言語と概念は、自己、意識、意志(Sがしばしば指摘するように)を前提としているので、そのようなアカウントは、おそらく行動のほとんどの哲学的記述について言うことができる、何の価値もなく人生の漫画に過ぎません。WSの枠組みは長い間、第一者の視点は3人目の視点に対して高く分かれていない、または還元可能ではないことを指摘してきたが、これは漫画の人生観にとって問題ではない。同様に、脳機能や行動を「計算」、情報処理などの記述で、WS、ハット、リード、ハッカーなどによって数え切れないほど多くの時間を過ごしました。最悪なのは、Sが(すなわち、すべての性質の名詞とその動詞と同じ形)を表す満足の条件(COS)として使用することが断然最高であると思う、非常に重要だが全く不明確な「表現」である。つまり、「雨が降っていると思う」という表現は、雨が降っているCOSです。

最も悲しいのは、C(デネットのような)は、彼が彼のキャリアの早い段階で彼を研究し、私立言語の議論が「行動主義」として拒否されることを決めたWの専門家であると考えていることです!Wは有名な行動主義を拒絶し、彼の仕事の多くは、それが行動の記述として役立つことができない理由を記述することに専念しています。「あなたは本当に変装した行動主義者ではないのですか?あなたは本当に人間の行動以外はすべてフィクションであると言っていますか?私がフィクションについて話すなら、それは文法小説です。(PI p307)また、現代の「計算機」の形でCの実際の行動主義を指すこともできます。WSは、Cが「I」または「自己」を使用したBBSの記事でDに謝罪している間、一人称視点の不可欠性を主張する。これは私の見解では、言語使用の正確な記述と漫画で想像できる使用の違いです。

ハットは、私がDとC(チャーチランドや他の多くの人と一緒に)を同じページに連れて行くので、Cを特徴づけるのに役立つWとデネット(D)の間の広大な溝を示しました。Sは様々な著作でDを解体した多くの人の一人であり、これらはすべてCに反対して読むことができます。そして、Wが行動する言語の例に固執していることを思い出しましょう。そして、彼が主に従うのが非常に簡単なポイントを得ると、Cは「理論」(すなわち、明確なCOSのない多数の文章を連鎖させる)に魅了され、特定の言語ゲームを気に入ることはめったになく、決定的な方法で解釈することが非常に困難な実験や観察を好む(BBSテーブル応答を参照してください)、いずれにせよ行動のより高いレベルの記述に関連性はありません(Cは決定的な(メモリと計算脳)として賞賛する1冊の本は、脳を計算情報プロセッサとして提示しています。過去10年間で、私はWについて何千ものページを読みましたが、Cが手がかりを持っていないことは明らかです。この中で彼は、Wの読書が実を結ばなかった著名な哲学者や科学者の長い列に参加します - ラッセル、クイン、ゴデル、クライゼル、チョムスキー、ダメット、クリプケ、デネット、パットナムなど(パットナムは後で光を見始めました)。彼らは、ほとんどの哲学が文法的なジョークと不可能なビネット、つまり人生の漫画的な見方であることを見ることはできません。

2つのレベルの説明を橋渡ししようとするこのような本は、本当に2冊の本であり、1冊ではありません。私たちの言語と非言語的な行動、そして認知心理学の実験の記述(Wが明らかにしたように説明ではない)があります。「実験法の存在は、私たちが問題を解決する手段を持っていると思う。しかし、問題と方法は互いに渡し合う。(W PI p232)、Cらは科学に魅了され、神経科学と実験心理学への形而上学への大きな進歩であると仮定するが、WSや他の多くの人はこれが間違いであることを示している。行動の記述を科学的かつ明確にするどころか、それは支離滅裂になります。そして、ロック、カント、ヒューム、ニーチェ、サルトル、ヴィトゲンシュタイン、サルラ、そのような記憶に残る行動の説明を、どんな卑下科学も一切与えることができたのは、神の恵みによるものだったに違いない。もちろんコース、政治家のように、哲学者はめったに間違いを認めたり黙ったりすることはめったにないので、これはWが完全に診断した理由で続きます。一番下の行は、私たちの日常生活の中で何が有用で、何が理にかなっているものでなければなりません。私は、WSの見解とは対照的に、CDC(カーラザーズ、デネット、チャーチランド)の哲学的見解は役に立たないことを示唆し、自己と意識が幻想であるという究極の結論は全く意味をなさない、すなわち、彼らは明確なCOSを持たない無意味である。認知科学に関するCDCのコメントがヒューリスティックな価値を持っているかどうかはまだ決定されていない。

この本(他の著作の巨大な体のように)は、他の動物のHOTを割引し、脳機能への行動を減らそうとします(心理学を生理学に吸収する)。哲学は大惨事ですが、BBSの多くの批判を最初に読んでいけば、最近の心理学と生理学に関する解説が興味を持つかもしれません。デネット、チャーチランド、そして他の多くの人がそうであるように、Cは彼の本当の宝石を最後まで明らかにしませんが、私たちが言われたとき、自己、意志、意識(これらの言葉が正常に機能する意味では)幻想です(おそらくこの言葉の通常の意味で)。デネットは、これらの「迷信」(つまり、全く説明し

ておらず、実際には説明していない)を説明するためにS、Huttoらのマスクを外されなければならなかったが、驚くべきことにCも最初にそれを認めているが、もちろん彼はこれらの言葉が私たちが考えていることを意味するものではなく、彼の漫画の使用は有効なものであると考えている。

また、「神経科学と哲学」のSとデネットの返信でハッカーの歯車の批判を見て、ハッカーの著書「人間の性質」(3巻)と「神経科学の哲学的基礎」(HN V1の私のレビューを参照してください)でよく探求する必要があります。すべての行動学(文学、歴史、政治、宗教、法律、芸術などを含む)のほとんど誰も含んでいないことは驚くべきことです。明らかな枠組みと同様に)は、論理的な枠組みやそれが何を達成しようとしているのか、そして言語分析と科学が果たす役割を述べていたので、行動に興味を持つすべての人は、ハッカーの素敵な哲学(DPHOT)が何をしようとしているのか、そしてこれが科学的追求にどのように関連しているかを暗記することを検討するかもしれません。

「伝統的な認識論者は、知識が真の信念とさらなる状態であるかどうか、または知識が信念を意味していないかどうかを知りたいと考えています。私たちは、知識がいつ、いつ正当化を必要としないのかを知りたいと考えています。私たちは、彼が何かを知っているとされたときに、人に何が起因するのかを明確にする必要があります。それは独特の精神状態、業績、パフォーマンス、処分または能力ですか?pが脳の状態と同じであることを知っているか、信じることができるか?なぜ「彼はそのpを信じているが、それはpではない」と言うことができるのに対し、「私はそのpを信じているが、それはpではない」と言うことができないのですか?知識を達成し、達成し、受け取る方法、方法、手段があるのに、(信仰とは対照的に)信念ではないのはなぜですか。なぜ誰が、何を、いつ、いつ、どのように知ることができるのか、信じられないのでしょうか?なぜ人は、心から、情熱的に、ためらい、愚かに、思慮深く、狂信的に、独断的に、または合理的に信じることができるのでしょうか?なぜ人は完全に、徹底的に、または詳細に何かを知ることができるが、信じられないのか?知識や信念だけでなく、疑い、確実性、忘れ、観察、注意、レコグニ・ジン、出席、意識、意識、知覚の多数の動詞とその同一性に関する何百もの同様の質問を通して。これらの質問に答える必要がある場合に明確にする必要があるのは、私たちの認識概念のウェブ、様々な概念と一緒にハングアップする方法、その互換性と非互換性の様々な形態、そのポイントと目的、その前提と文脈依存の異なる形態です。結合解析におけるこの由緒ある運動に、科学的知識、心理学、神経科学、自己型認知科学は何も貢献できない」(自然主義的なターンを通り過ぎる:クインの袋小路- p15-2005で)。もちろん、それは私たちの進化した心理学、DPHOTの研究、言語の文脈的感受性(Wの言語ゲーム)であることを付け加えます。サール、プリースト、ピンカー、リードなど、私のヒーローのような全体像を把握している人を見つけることは非常にまれなので、これらの事実を述べるのは些細なことではありません。

原子物理学と物理化学に関する本は長 thatい間ありましたが、両者が融合する兆候はなく(一貫した考えでもありません)、化学が生化学を吸収したり、生理学や遺伝学を吸収したり、生物学が消えたり、心理学や社会学などを排除したりする気配もありません。これは、これらの分野の「若者」によるものではなく、全く異なる概念、データ、説明メカニズムを持つ記述の異なるレベルであるという事実によるものです。しかし、物理学の羨望は強力、であり、物理学、数学、情報、計算の「精度」と、より高いレベルの曖昧さに抵抗することはできません。それは可能でなければなりません。

還元主義 (私たちの通常の空間、時間、生活のスケールへの適用の欠如)は、量子力学、不確実性、波/粒子、生きた猫、量子絡み合い、数学の不完全さとアルゴリズムの乱れ(Godel/Chaitin - ヤノフスキーの「理由の外側の限界」の私のレビューを参照)の理解不能さ(空間、時間、生命の正常なスケールへの適用の欠如)にもかかわらず繁栄します。繰り返しますが、Wからのひどく必要な新鮮な空気の息:「論理の結晶性の純度のために、もちろん、調査の結果ではありませんでした:それは要件でした。PI p107.そして、もう一度青い本からW - 「哲学者は常に彼らの目の前に科学の方法を見て、たまらなく科学のように尋ねて答え、誘惑されています。この傾向は形而上学の本物の源であり、哲学者を完全な闇へと導く」行動に関するほとんどの本を投げ捨て、WとSを読み直すことに抵抗するのは難しいです。彼のPI [http://topologicalmedialab.net/xinwei/classes/readings/Wittgenstein/pi\\_94-138\\_239-309.html](http://topologicalmedialab.net/xinwei/classes/readings/Wittgenstein/pi_94-138_239-309.html)からのこれらの引用符など、何かから何かにジャンプするだけです。

私は心の問題を本質的にすべての「深い」哲学的な質問と同じものとして見ることをお勧めします。私たちはS1によって認識される「現実」を理解したいと考えていますが、S2はそれのためにプログラムされていません。それはDNAを介してS1の無意識の機械化のすべて(または主に)です。私たちは知りませんが、私たちのDNAは約30億年にわたって何兆もの生物の死を礼儀しています。だから、私たちは科学に苦勞し、脳の「完全な」知識に到達した場合でも、正確なニューロンパターンが赤を見たり、選択をしたり、それが不可能である理由の「説明」を行うことさえあることを知って、心のメカニズム(すなわち脳の)をゆっくりと記述します。

何万ページもの哲学を読んだ後、普通の言語が意図的にも不注意にも特別な用途に変貌するこの種のより高いレベ



ルの記述心理学を行おうとする試みは、本質的に不可能であることは明らかです(すなわち、哲学やその他の行動規範の正常な状況)。特殊な専門用語(例えば、利下げ、リアリズムなど)を使用しても、狭い定義を強制する哲学警察はなく、それらが何を意味するのかという議論が間接的であるため、うまくいきません。ハッカーは良いですが、彼の文章はとても貴重で密なので、しばしば痛いです。サールは非常に良いですが、彼の用語を受け入れるためにいくつかの努力を必要とし、私は彼がいくつかの大きな間違いを犯すと信じていますが、Wは彼が何をしているのかを把握すると、最も明確で洞察力に富み、誰も彼をエミュレートできませんでした。彼のTLPは、生命の機械的還元主義者の見解の究極の声明のままですが、彼は後に彼の間違いを見て、「漫画の病気」を診断し、治癒しましたが、ポイントを得て、最も単純に彼と生物学を無視する人はほとんどいないので、何万冊もの本と何百万もの記事とほとんどの宗教政治団体(そして最近まで経済学のほとんど)とほとんどすべての人々の人生の漫画の見解を持つ人々があります。しかし、世界は漫画ではないので、人生の漫画の見解が現実と衝突し、普遍的な失明と利己主義が次の2世紀にわたって文明の崩壊をもたらすので、大きな悲劇が繰り返されています。

経験豊富な人が私とほぼ同じ視点を持つべきであり、ナイーブは彼らの時間を無駄にするので、私は誰にでもCの文章をお勧めします。哲学や認知科学を読んで、アマルガムを避けてください。

利用可能な無限の本や記事の中で、私はカーラザーズによって編集された人間の性質に関する3巻(はい、同じ)、ハッカーによって書かれた人間性の3、進化サイキック学のハンドブック2<sup>nd</sup> Ed、そしてW /S、ハット、DMS、ハッカーらの私のレビューをir賞賛します。最後に、私はWの言語と心の方程式を受け入れ、「心/身体の問題」を「言語/身体の問題」と見なせば、彼の治療目標を達成するのに役立つかもしれないことを提案します。